

# リテラシー研究会

Literacy Seminary

## I 活動報告

2008年度のリテラシー研究会の活動概要を以下に記す。今年度は研究例会開催、前年度のカンボジアスタディーツアー報告書刊行、メーリングリストを通じた情報交換の3種の活動を行った。バングラデシュへのスタディーツアーが企画されスタディーツアーに特化した勉強会が8月まで行われたが、南アジア地域の政情不安から中止となった。

### 1. 例会などの活動記録 (2008.4～2009.3)

2008年度に開催した例会の詳細は以下のとおりである。2回を教育研究所ほかと共催で行った。発表スケジュール、発表資料はリテラシー研究会ホームページに掲載されている。

日時	タイトル	発表者
April 14, 2008	千葉泉弘先生講演会「フィリピンのミンダナオ地域における平和共生」	千葉泉弘 (教育研究所顧問)
April 28, 2008	市民による平和構築? ルワンダの「ガチャチャ」、シエラレオネの特別法廷と真実和解委員会	関口嶺 (08卒業生)
May 19, 2008	モザンビーク共和国の教員養成学校での活動報告	中村真与 (学部4年)
May 25, 2008	アンゴラ共和国、ベンゴ州での小学校調査報告	中村真与 (学部4年)
June 2, 16, 25, Aug. 4, 2008	バングラデシュスタディーツアーの企画について (参加者による話し合い)	——
Sept. 17, 2008	識字に関する国際社会の今までの取り組みの概要	中島実優 (学部2年)
Oct. 22, 2008 IERS公開講座	外国籍児童生徒の学習支援に取り組んで	出口雅子 (NGO ピナツボ復興むさしのネット事務局職員)
Dec. 1, 2008 IERS公開講座, JLP/ RCJLEとの共催	外国人児童生徒の日本語—学習言語の伸びをどう測るか—	中島和子 (トロント大学名誉教授)
Jan. 28 2009	ルワンダの国で開催された Pan African Dance Festival 2008に参加して	近藤洋子 (元 ICU 保健体育科課程准教授)
Feb. 18, 2009	新宿区の外国人児童生徒の学習支援について—現状・課題	藤田ラウンド幸世 (院後期3年)

## 2. カンボジアスタディーツアー報告書

前年度2007年11月25日から12月2日にかけて行われたカンボジアスタディーツアーの報告書を刊行した。報告書は、「1. はじめに」「2. 事前学習編」「3. 報告編」「4. 個人感想編」「5. 写真」の5部構成である。「2. 事前学習編」には、ユネスコの「EFA goal」の概要とカンボジアの小学校、中学校、高校およびインフォーマルな部門での教育事情をまとめ、「3. 報告編」ではスタディーツアー訪問先の紹介、訪問時の様子および訪問によって知りえた内容をまとめた。「5. 写真」は各訪問先でメンバーが撮影した写真から状況をよく示すものを選んで編集した。

## 3. 卒業生の活動

2008年2月23日に行われた千葉栄弘先生の誕生日会では、20名以上の在學生と卒業生が一同に会し、親交を深めたが、参加できなかった海外在住の卒業生からも複数の近況報告やメッセージが送られてきた。

2008年4月から2008年12月いっぱい間に、リテ研のメーリングリストには、教員募集や国際開発関係諸機関の求人情報、イベント情報、出版情報、現地での活動状況、バングラデシュスタディーツアーに関する情報提供、相互の情報交流のメッセージなどが20数件（定期的なイベント情報は1件とカウント）寄せられた。

2008年度のメーリングリストから拾うことのできた卒業生の現在の活動先で、海外のものは、ニューヨーク、パキスタン（ラホール）、ルワンダ、ウガンダ、東チモール、カンボジア、ブルキナファソなどである。現役生がイスラム圏へのスタディーツアーを企画した折に問い合わせのメッセージを流したところ、海外在住の卒業生から複数のアドバイスがあり、ツアー訪問先の決定に大きな役割を果たした。

## II. 今後の活動計画と課題

リテラシー研究会の今後の活動は、これまで同様、現役生による研究例会活動が中心になることは間違いなが、昨年度の報告書に記したとおり、卒業生も含めた多様な活動形態も視野に入れている。それらの活動の活性化を支援するため、ホームページの整備が今後の課題といえる。

## 注

1. EFA(Education For ALL) goalとは十分な教育を受けられない人たちが満足のいく教育を受けられるように、2015年までに達成することを目指して設定された目標で、全6つある。例えば、2015年までに全ての子どもたちに質の良い、無償の初等教育を補償する、2015年までに成人識字率を50%改善する、などの目標がある。

参考サイト：文部科学省ユネスコ国内委員会のホームページ

<http://www.mext.go.jp/unesco/004/003.htm>

### リテラシー研究会概要

ICUリテラシー研究会は、元国際基督教大学教授、教育研究所顧問の千葉栄弘先生を中心に、アドバイザーを含めた学生によって運営されてきた研究会である。「識字」「ノン・フォーマル教育」「開発と教育」などのテーマで毎週授業後の時間帯に例会を持ち、その運営は千葉栄弘先生退任後も継続している。例会では、学内外の専門家や卒業生による講演、卒業論文や修士論文の研究発表、読書会などを行っている。会場場所は主にICU教育研究棟357号室である。1996年に『なぜ識字か』が教育研究所から発行されたが、この書籍の元になったのもリテラシー研究会のメンバーによる活動であった。この会の特徴は、会が千葉栄弘先生を核としたものであると同時に、学内外の学生や研究者、教育開発の実践者に開かれたものであること、巣立った卒業生が現場で活躍しており、その現場と現役学生との交流、現場からのフィードバックが年々活発になっていることである。（『ICU教育研究50』2008.3 p.269より）

【リテラシー研究会HP】

<http://subsite.icu.ac.jp/org/liteken/>

鈴木 庸子  
SUZUKI, Yoko